



# Rotary Weekly



## 広島空港ロータリークラブ週報

2020年8月26日発行

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度

国際ロータリーテーマ

会長 伊藤 保 / 副会長 河井一朗 / 幹事 兼田昌紀 / SAA 橋濱智美

事務局 三原市本郷南6丁目3-26番地 三原臨空商工会 2階

TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp

例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

9月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30  
プレ公式訪問 例会 公式訪問 休会 休会

### 本日のプログラム (8月26日)

三原市役所 保健福祉課 辰巳健一様

(臨床心理士・公認心理師) 「発達障害者を戦力に」

### 次回のプログラム (9月2日)

澤井一徳ガバナー補佐プレ公式訪問

## 第1186回 2020年8月19日 例会記録

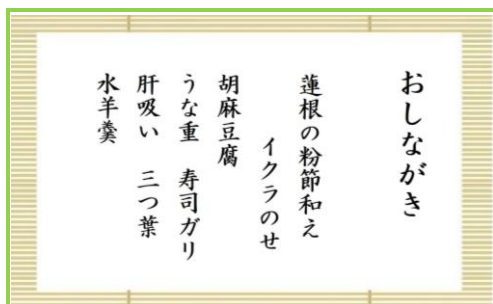
点 鐘 伊藤 保 会長

国歌斉唱 ロータリーソング「四つのテスト」

### 出席報告

	会員数 名誉・シニア	出席者	メイク	欠席 (免除)	出席率
本日 (8/19)	28 2	20 1	1	5 2	80.77
メイク	楠部				
前々回 (7/8)	28 2	23 0	0	3 2	88.46
メイク					

### 食事時間



### 会長時間

こんにちは。8月8日に予定していた納涼家族会ですが、新型コロナの影響には勝てず、中止となりました。会長・幹事・SAA3人での新作漫才も用意していたのに、とても残念ですが、日本全国で感染者数が増えている現状を考えると、仕方がないことですし、自粛をすることで経済の回復が早くなるのであれば、よしとするところです。



皆さんもそうだと思いますが、今年は夏らしいことをせずに夏が終わりそうです。そこで今日は、夏の思い出にうなぎを用意しました。今年は当初うなぎは豊漁と聞いていたのですが、最近になって1.5倍に値上がりしました。そんなうなぎに関する蘆薈を紹介しま

なぜ、土用の丑の日とうなぎを食べるようになったか。諸説あるようですが、平賀源内説をお話します。夏場にウナギが売れなくて困っているウナギ屋の主人が、学者であり、医者でもある平賀源内氏に相談したところ「本日、土用の丑の日」という貼り紙をすることをすすめたのがきっかけといわれています。また、丑の日にちなんで、「う」のつく食べ物を食べると夏負けしない、という風習がもともとあったことも鰻がよりヒットした理由なのだそうです。

鰻以外に、うどん、梅干し、瓜（うり）、牛肉（うし）馬肉（うま）など頭に「う」のつく食べ物を食する習慣もあったと言われてますし、現代では一部の地域で残っている習わしようです

ちなみに、本来のウナギの旬は冬です。ウナギは冬眠に備えて、養分を蓄えるので晩秋から初冬が最もおいしいと云われています。ただし、現代では養殖のウナギが年中おいしくいただけます。今日は、ゆっくりとご堪能ください。

ロータリークラブの主な活動分野のひとつに「疾病の予防と治療」と言うのがあります。多くのロータリークラブが、医療従事者に対し、新型コロナとの闘いへの支援として、マスクを提供するなどの活動をしています。広島空港ロータリークラブでも、佐々木会長年度にすでに、医療関係及び会員にもマスクを配布しています。

余談になりますが、コロナでのホテル休館中に、佐々木歯科へ通いました。猛スピードで、治療していただき、ホテル再開に間に合いました。やさしい女性たちに治療していただいたおかげで歯医者が好きになりました。これからも、予防のために通おうと思っています。

コロナに対して、今後私たちがロータリアンとしてすべき行動は、手洗いや感染予防法を啓蒙することだと思います。楽しいことを我慢するのはつらいことですが、もう少しだけ辛抱して、コロナが終息した暁には、以前のように楽しみましょう。

## 幹 事 報 告

《配 布 物》週報1185号・ロータリーの友  
ガバナー月信



鶴田幸彦 会員

## 「私からのお願い」

本日の例会開催の真っ先に会員全員で黙とうを捧げましたが、残念なことに小島さんの奥様の訃報が届きました。昨日、重森さんともお話したのですが、私が入会する前の2004年から2005年にかけて我がクラブで青少年交換留学生ジュニアさんを受け入れておられ、その際、3カ月間ホストファミリーとして小島さんご家族の皆様には大変お世話になっていたそうです。私も気さくでとても明るい奥さんとお付き合いさせていただいておりますが、とても残念です。心よりお悔やみ申し上げます。

さて、まずは皆さんにお詫びしなければなりません。本日、「かぎひろ農園」の鎔廣未来さんをお迎えし、「ひとつぶのしあわせ」とのテーマで卓話をお願いすることとしておりましたが、昨日の午後急遽、会長、幹事はじめ理事、役員の皆様に例会プログラム変更の了承を受けることなく、私自身の個人的な判断にてお断りさせていただきました。鎔廣さんは、責任感がありとても几帳面なお人柄なもので、今回の卓話については十分な準備をされておられました。『美味しいものをご馳走するから…許してほしい』と何とか了承して頂きましたが、是非一度例会にお越し頂いて、カノジョの人生談話とひとつぶにかけるやる気のお話を聴き、元気と活力と勇気を私たちに注入してほしいと思っています。

## ガバナーより 新型コロナウイルス対策下の例会について

プログラム変更させていただいた理由は2つあります。

1つは、昨日事務局より午後送られてきました2710地区協ガバナーを発信元とするメール「新型コロナウイルス感染症対策下の例会開催について」と題して、現在のような状況下でのロータリー活動の対策・指針が示されたことです。その中にはこうあります。「三密の状態とならないよう入場者の制限や誘導を行う。」

「大声での発声、歌唱や声援、又は近接した距離での会話等がなされないよう留意する。」「参加者の名簿を作成し、連絡先等を把握しておく。」これらの文言にて考えさせられ、『会員の皆様の貴重なお時間を拝借して、自分の担当例会として企画した外部卓話は、今本当に

皆さんにとって必要か、今じゃなきやダメなのか、皆さんに危険負担を強いてないか。』と考えたことです。答えは『今でなくてもいい、皆さんにとって初対面の方をお呼びして感染への不安を抱かせてはならない。』です。

お越しいただき卓話をお願いする講師鑑廣さんにも、感染のリスクや不安を抱かせるようなことをしてはならないと考えました。ガバナーからの指標では、開催者が講じるべき具体的な対策として、「会食が避けられない場合は、食事中に他の人との会話をなるべく避け、向かい合っただけの食事は避けること。」とあります。「会食が避けられない場合は」とは、読み替えれば「会食は避けた方がいい」と思います。考え過ぎ…とおっしゃられる方もいらっしゃると思いますが、和気藹々のクラブがなあってのクラブにならないようにしなければならぬと思います。

### 親クラブ 三原RCさんの例会運営

2つ目は、昨日澤井ガバナー補佐に同行した三原RCのプレ公式訪問において、三原RCさんのこの時期の例会運営や組織運営に感銘した点が多々あり、私たちのクラブも見習わなければならないと思ったからです。三原RC保道会長は、会長挨拶でこうおっしゃられました。「三原RCからはコロナ患者は絶対に出さないとの強い信念のもとで通常理事会、臨時理事会を重ねて例会運営について協議を重ねてまいりましたが、ひとつ皆さんにお詫びしなければなりません。今年度の公式訪問は、ビデオメッセージで行うとしておりましたが、ガバナーが『例会を行うのであれば是非行きたい』との意向ですので、予定通り瀬戸田RCとの合同公式訪問は開催させていただきます。」例会後に副会長にお聞きすると、『山口防府からお越しいただく交通機関での感染の虞のことやガバナー自身の体のことを考えての苦渋の決断』だったそうです。三原RCは、『例会でのロータリーソングの斉唱は行わず、聞くだけにすること。四つのテストも声を出さず、SAAが読むのを聞くだけにすること。当面の間、外部卓話は行わないこと。例会時間は12:30~13:10と時間短縮とすること。お弁当は持ち帰りすること。仕事等でやむを得ず県外に出られた会員はその週の例会を欠席しても自己申告制にて出席扱いとすること。等理事会で協議決議され実行されておられます。44年間100%出席92歳の難波先生はじめ、ご高齢の会員が多いので感染リスクの軽減や人命優先を第一に考えておられることを同じロータリアンとして、私自身鞭打たれたからです。

以上の理由で本日の例会プログラムを外部卓話から会員卓話へ変更しましたこととお許しいただきたいと思っております。そして、どうか私たちのクラブもこの感染下での例会開催や懇親会、親睦会の開催の可否、ロータリー活動について、今年度の理事、役員の皆様で協議していただきたいと思います。どうか宜しくお願いします。

### GDPマイナス 27.8%

さて、一昨日、政府が発表したGDPマイナス27.8%とのとんでもない数値が発表されました。このままでは日本経済どころか、私たちの生活までも脅かされる状況になると思います。テレビのニュースでは、コロナ、コロナ。医療機関不足や病床逼迫の問題、感染経路不明者の問題。過度にコロナ感染の危険や状況を考えたり、対応したりすることで社会経済の停滞を招き、自分自身の心まで病んでいきそうになります。

しかし、健康であつてのロータリー活動、会社経営がうまくいってこそそのロータリーだと思ふのです。我が社でも従業員のうちの一人でもコロナ感染が見つかったら会社は潰れると思いますし、とうとう先月7月売上は前年同月比50%を割ってしまいました。澤井ガバナー補佐の会社の4月からの売上減のお話を聞きましたが他人事ではありません。製造業の多い広島県の中では、建設業まで影響が出るタイムラグがありますので、我が社が影響を受けるのはこれからだと思っています。

### 「智」 「仁」 「勇」

今あらためて私の日頃の行動の3つの基本姿勢「智」「仁」「勇」を自分自身問いただしています。

「智」とは、すなわち智恵です。物事を理解して、是非・善悪を弁別することです。間違っただけを覚えたり、知ったかぶりをしないようにしています。わからないことは素直に問うようにしています。

「仁」とは、相手のために己をころしてことを行うこと、そして人の心を掴むことです。自己中心であつてはいけないということです。

「勇」とは、勇気をもって自分が正しいと思つたことを信念をもってやりぬく、行っていくということです。正義にかなうことを知りながら、実行しないのは勇気のないためだと思ふます。

この「智」「仁」「勇」をいつも心にとどめ、日頃の生活もそうですが、仕事や社会活動でその折々に自分に言い聞かせて行動しています。